

## 協働テーマ

AI技術の活用により納付書の読取や処理後の納付書の分類・振り分けに係る業務を効率化・自動化し、作業者の負担軽減につなげたい！

## ■ 現場課題

## 課題詳細

- 都公金の納付書は紙で処理しているものがあり、手書き等の不定形様式はOCR化が困難。
- 年間約6万枚の手書き納付書の読取・データ化と、処理後の納付書約28万枚の分類・返付を人手で行い負担が大きい。生成AI等で読取・振分を効率化したい。

課題解決による  
想定成果・効果

- 生成AIを活用したAI-OCRで納付書を高精度に読み取り、構造化データとして自動出力。
- 画像化した納付書を宛先別に自動分類・返却し、入力・仕分け作業を省力化。
- ペーパーレス化と処理時間短縮により作業者負担を軽減する。

## ■ プロジェクト概要

課題に対する  
ソリューション

- ProofOCR (AI-OCRプラットフォーム) を活用。文章構造理解→データ抽出→自動分類→品質保証の4段階処理で精度を向上。
- 2段階処理 (OCR処理→テキスト整形) と画像3分割スキャンにより、手書き混在・非定型帳票にも対応する仕組みを構築した。

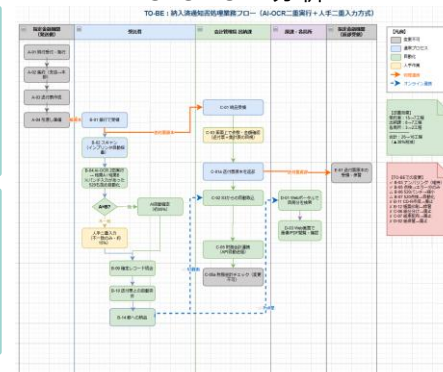
協働  
プロジェクト  
内容

- 要件定義：週次定例 (Zoom) で業務フロー把握、As-Is/To-Be整理
- 開発：複数OCR比較・選定、AI-OCR検証 (1,335回)、画面設計・仮実装
- 効果検証：業務フロー分析、精度検証、一気通貫フロー構築

## 成果

- 計画した7段階のうち約半分 (スキャン～AI-OCR処理) まで完了し、安定稼働を確認
- AI-OCR精度は当初11.4%→95%超へ改善 (1,335回検証)、処理速度は当初1件3分→5秒 (50倍)。業務工程は現行24→15工程 (38%削減) 可能、OCR×AI-OCRのハイブリッド運用が最適と検証
- 課題：AI-OCR後の構造化データ比較と、確実なエラー検出 (差分判定・例外処理・品質担保) の精度向上に残課題あり

## AS-IS TOBE分析



AI-OCR認識率 95%以上

